

東北地方 1か月予報

(2月21日から3月20日までの天候見通し)

平成21年2月20日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

この期間、気温の高い状態が続く見込みです。積雪の多いところではなだれに注意してください。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は高い確率が60%です。

週別の気温は、1週目、2週目は高い確率が60%、3~4週目は高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

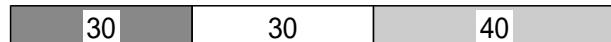
[気温] 東北地方



[降水量] 東北日本海側



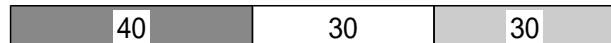
東北太平洋側



[日照時間] 東北日本海側



東北太平洋側



低い(少ない)

平年並

高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

[1週目] 東北地方



[2週目] 東北地方



[3~4週目] 東北地方



低い

平年並

高い

<予報の対象期間>

1か月 : 2月21日(土) ~ 3月20日(金)

1週目 : 2月21日(土) ~ 2月27日(金)

2週目 : 2月28日(土) ~ 3月6日(金)

3~4週目 : 3月7日(土) ~ 3月20日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は2月27日

3か月予報:2月25日(水) 14時

暖候期予報:2月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	0.7	74.3	109.1	-0.4	0.3	1.5
深浦	1.5	70.5	84.6	0.4	1.1	2.2
むつ	0.2	72.3	123.5	-0.8	-0.2	0.9
八戸	1.0	45.4	148.4	-0.2	0.6	1.8
秋田	2.0	85.7	102.2	0.8	1.5	2.7
盛岡	0.5	64.1	144.5	-0.8	0.0	1.3
大船渡	2.4	67.8	149.4	1.5	2.0	3.1
宮古	1.8	74.6	160.2	0.8	1.4	2.6
仙台	3.4	57.5	160.3	2.3	3.0	4.1
石巻	2.6	53.7	167.6	1.5	2.2	3.3
山形	1.7	61.7	123.6	0.4	1.3	2.6
新庄	0.8	109.1	89.4	-0.3	0.4	1.6
酒田	3.1	94.6	95.3	2.0	2.7	3.8
福島	3.6	60.4	156.8	2.4	3.2	4.4
若松	1.6	59.6	117.6	0.3	1.0	2.5
白河	2.3	54.5	162.1	1.0	1.8	3.1
小名浜	5.2	78.1	171.3	4.2	4.9	5.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ~ +0.6	83 ~ 111	94 ~ 106
東北日本海側	-0.6 ~ +0.6	90 ~ 108	92 ~ 108
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.6	78 ~ 115	96 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.9 ~ +0.8	-0.7 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.5
東北日本海側	-0.8 ~ +0.8	-0.7 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.5
東北太平洋側	-0.8 ~ +0.8	-0.7 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年2月20日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(2月21日～3月20日)：

冬型の気圧配置は長続きせず、時々低気圧や前線の影響を受けるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多い見込みです。なお、期間をとおして気温の高い状態が続く見込みです。積雪の多いところではなだれに注意してください。

平均気温は高い確率が60%です。

1週目(2月21日～2月27日)：

東北日本海側では低気圧や寒気の影響で雪または雨の降る日が多いでしょう。東北太平洋側では曇りの日が多く、期間のはじめは低気圧の影響で雨または雪の降る日がある見込みです。

なお、明日(21日)は発達する低気圧の影響で東北日本海側を中心に大荒れの天気となる見込みです。

平均気温は高い確率が60%です。

2週目(2月28日～3月6日)：

冬型の気圧配置は長続きせず、時々低気圧や前線の影響を受けるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多い見込みです。

平均気温は高い確率が60%です。

3～4週目(3月7日～3月20日)：

天気は数日の周期で変わるものでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多い見込みです。

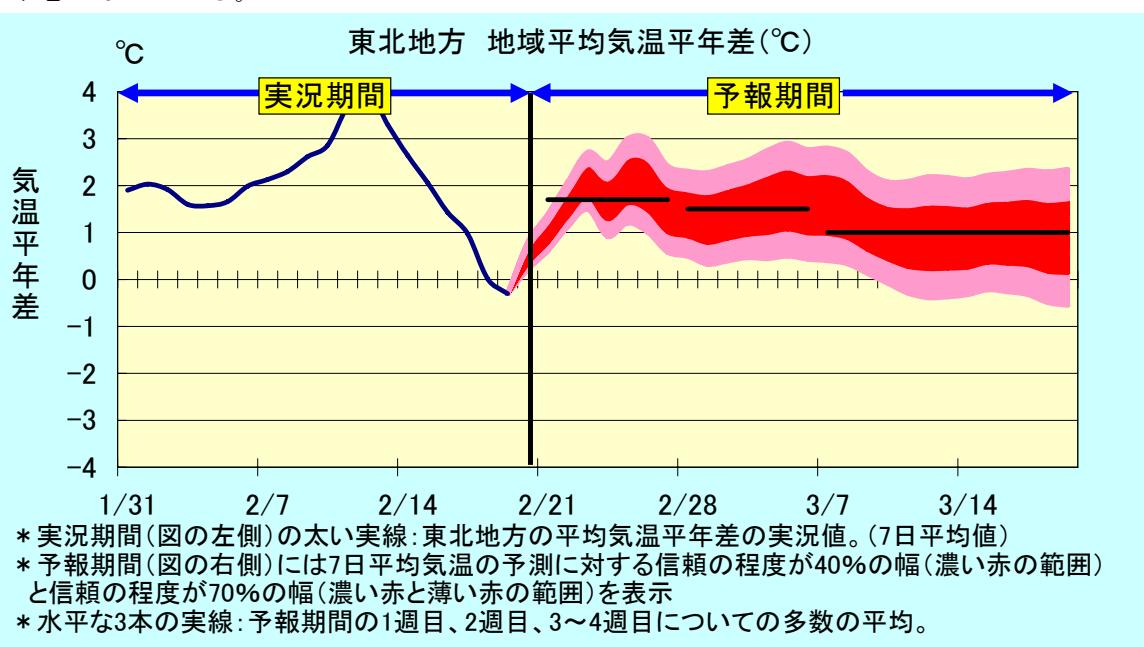
平均気温は高い確率が50%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	10.1日	1.9日	2.4日	5.8日
東北太平洋側	18.0日	4.3日	4.6日	9.1日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに平年を上回る予想となっている。

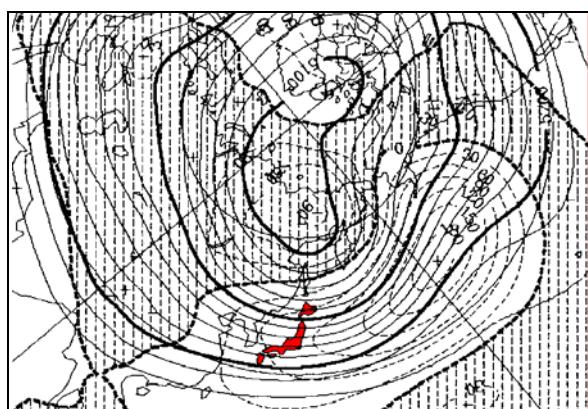


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 極東域の高緯度に負偏差が広がるが、日本付近は北太平洋に中心をもつ正偏差におおわれる。高温傾向が予想され、また、太平洋側を中心に低気圧や前線の影響を受けやすい見込み。

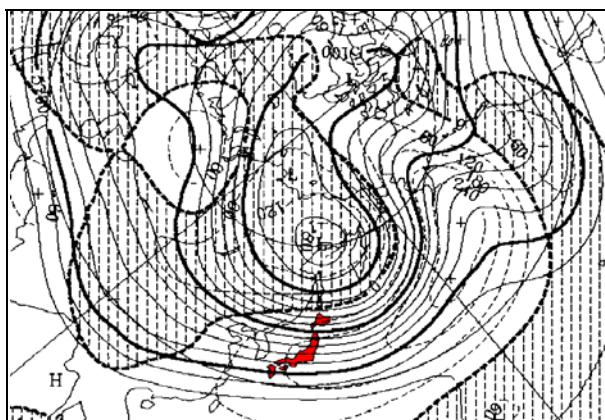
1週目: 東シベリアに極渦があり負偏差が広がるが、本州付近は正偏差におおわれる。高温傾向が予想され、また、太平洋側を中心に低気圧や前線の影響を受けやすい見込み。

2週目: 極東域の高緯度の負偏差は1週目より後退し、日本付近は北太平洋に中心をもつ正偏差に広くおおわれる。高温傾向が予想され、また、太平洋側を中心に低気圧や前線の影響を受けやすい見込み。

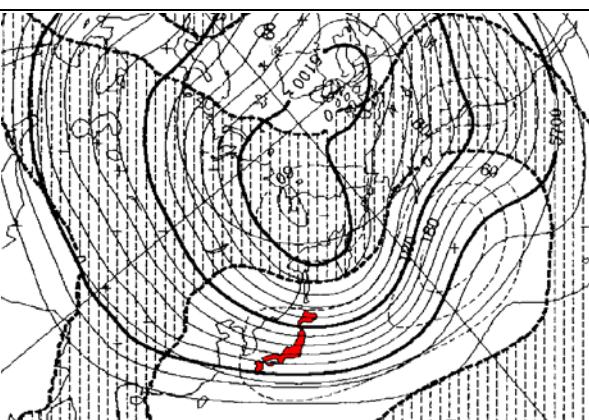


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

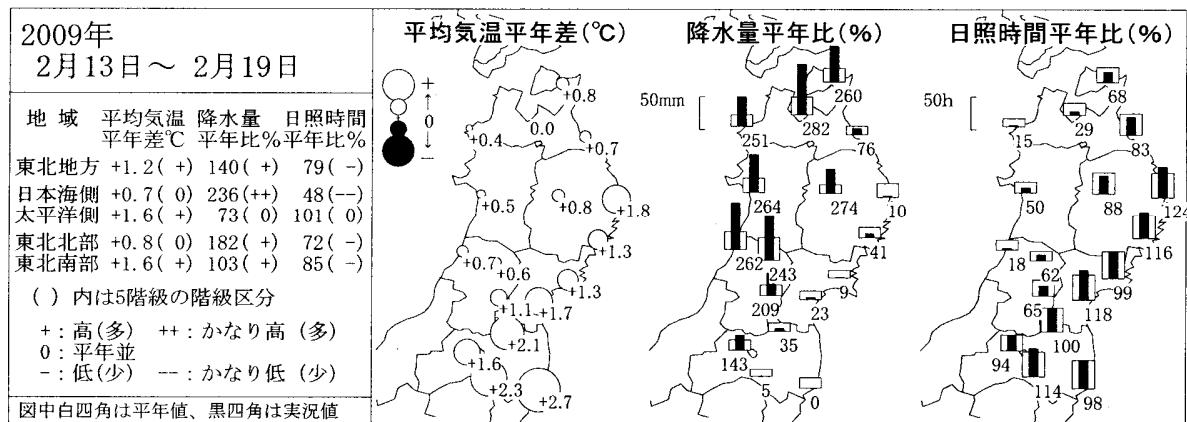
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（2月13日～2月19日）の天候の経過

この期間、13日から14日にかけて日本海低気圧が発達しながら北日本を通過したため、大荒れの天気となった。低気圧の通過後は、強い寒気が南下して冬型の気圧配置が続いた。14日には秋田県で大雨や融雪による山がけ崩れ害などが、宮城県で強風による交通障害などが発生した。なお、期間のはじめは顕著な高温となったが、低気圧の通過後は強い寒気の南下により低温となり寒暖の変動が大きかった。

平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）